

# 岡谷市議会 社会委員会 行政視察報告書

## 【総体事項】

1. 視察日程：平成22年7月14日（水）～16日（金）
2. 調査事項（視察先）
  - (1) お年寄りにやさしい福祉施策（75才以上医療費無料）  
(東京都西多摩郡日の出町)
  - (2) ごみリサイクル率 日本一  
(神奈川県鎌倉市)
    - (イ) 5年連続日本一
    - (ロ) 声かけふれあい収集
  - (3) 静岡市立静岡病院（現地視察）  
(静岡県静岡市)
    - (イ) 新館オープンに伴う特徴
    - (ロ) 病院ボランティア
3. 視察参加委員

委員長	花岡健一郎
副委員長	武居光宏
委員	武井富美男
委員	横内正
委員	横内東洋雄
委員	笠原征三郎

## 【視察地毎の報告】

### 1. 調査事項

お年よりにやさしい福祉施策（75才以上医療費無料）

（東京都西多摩郡日の出町）

人口：約16,400人      面積：約28km<sup>2</sup>

（視察事項）

後期高齢者（75才以上）医療費の自己負担分について、町が単独で補助を行っていることについて視察。

### 2. 視察日時      平成22年7月14日（水）10：20～12：00

### 3. 参加者所感

- 日の出町では、公共下水道事業など町のインフラ整備が概ね終了したことにより、前町長が発案・発表し実行に移した「高齢者にやさしい日本一のまちづくり」と、現町長の発案による「子育て支援策の充実」を行っている。首長の姿勢により、このような無料化が可能になるものと思った。
- 今までの行政視察で、首長から直々に話を聞いたことはほとんどなかったが、今回は首長から直接視察説明や質疑に対する応答を受けることが出来た。このことから日の出町が「高齢者の医療費の助成」に並々なぬ力を入れているという思いを感じた。
- 日の出町の「お年寄りにやさしい福祉基本条例」には「これまでの高齢者のご苦勞に報いるとともに今後ともますます壮健で地域社会の一員として活躍され暮らしていただく」と高々謳われている。このことが一番のカギであると感じた。
- 財政的にゆとりがあるとの事ではあったが、町が「お年寄りを大事にする」ことに対して、確固たる理念を根本に持っているからこそ実現できるものと思った。
- 至れり尽くせりの福祉施策の展開でうらやましい。
- 岡谷市も、こうした方向にむけて一層の努力を期待する。
- 各自治体自体の財政状況は大変厳しい、中でも小さな自治体の自主財源確保ほど難しいことはない。そうした点について前町長、現町長も財政畑を歩き続けただけあって国、県の動向を熟知しているとともに日の出町の現況についてもよく理解している。
- 首長の決断、英断が町を良くする良い例だと思った。

## 【視察地毎の報告】

### 1. 調査事項

ごみリサイクル率 日本一（神奈川県鎌倉市）

(イ) 5年連続日本一

(ロ) 声かけふれあい収集

人口：約174,400人      面積：約40km<sup>2</sup>

(視察事項)

(イ) ごみリサイクル率が人口10万人以上50万人未満の都市の中で5年連続全国ナンバーNo.1（リサイクル率47.8%）としたことについての視察。

(ロ) 収集場所に持ち込めない高齢者等への声かけふれあい収集の方法等について視察。

### 2. 視察日時 平成22年7月15日（木）9：30～11：30

### 3. 参加者所感

(イ) リサイクル率5年連続日本一

○ 3Rの推進によるゴミの焼却量の減少につながる「環境にやさしいまちづくり」に積極的に取り組んでいることが結果につながっている。

○ 推進員の活動・スーパーの店頭キャンペーン・クリーンステーション（ごみ集積場）におけるごみ排出指導等、市民・業者との連携がうまくいっている。観光都市らしく環境美化には早くから強力に取り組まれているようだ。

○ 担当職員から受けた説明から、リサイクルの向上は観光地への直接的な配慮でなく、市民の自然環境保全に対する高い意識に基づく地球温暖化対策など環境にやさしいまちづくりへの施策であると感じるとともに、5年連続リサイクル率日本一には感心させられた。

○ ごみリサイクル5年連続日本一としていることは、職員の努力も大きいと思う。

(ロ) 声かけふれあい事業

○ 市民でクリーンステーションなどへ自分でごみや資源物を運び出すことが困難な高齢者や障害者の世帯を対象に、週一回市職員が個別に声をかけて安否確認をしながら収集を行うとのことで、きめの細かい収集がされていることに感心した。

○ この制度は、岡谷市でも実行できると思う。

○ 岡谷市の市民生活課に来た時、分別収集の説明をしてみたらどうか。

## 【視察地毎の報告】

### 1. 調査事項

静岡市立静岡病院（現地視察）（静岡県 静岡市）

（イ） 新館オープンに伴う特徴

（ロ） 病院ボランティア

人口：約716,300人 面積：約1,412km<sup>2</sup>

（視察事項）

（イ） 新館建設に向けた取り組み状況と館内視察。

（ロ） ボランティアの活動の内容と運営について視察。

### 2. 視察日時 平成22年7月16日（金）9：30～11：30

### 3. 参加者所感

（イ） 新館オープンに伴う特徴

- 静岡県全域が東海地震防災対策強化地域に指定され、隣接する市保健所跡地に災害拠点病院としての機能を維持する免震構造を採用した新館が建設される中で、岡谷病院とは規模が違うが病院新築にあたっての一つの方向性かなと思った。
- 設計に当ってはコンサルが入り市民要望の取り入れ方を検討し、市民・患者の皆さんに使いやすい快適な施設となるよう心がけた事や建設委員会にドクターと看護師が加わるようにした事、医師賃金の上積みによる医師確保を図っている事など参考になった。
- 免震構造は、震度7に耐えるもので、本館の耐震構造との差があり、ゆれの違い53cmに対応するように接続部分に工夫がしてあるとした現場での説明で免震と耐震の違いを改めて感じた。
- 新病院を建てるに当り、常に業務サービスを続けながら新築や増築をしなければならないのでローテーションのできる敷地の確保が大切である。
- 東館建設にあたり、24時間対応の救急部門の整備拡充、ハートセンター（心臓血管外科、循環器外科）の整備拡充、重症患者を総合的に治療するハイケアユニットの新設、病々・病診連携の推進。個室を増やし、また6人部屋を廃止し療養環境の向上を図る。などの特徴に重点を置いたことが理解できた。
- 24時間対応の救急部門の整備拡充に重点を置いている。

（ロ） 病院ボランティア

- ボランティアとは自分の時間、労働、能力、技術など自発的に提供し好きなとき、好きな時間を利用して無報酬で働く人をいう。そして、いつも相手の立場に立って考え共に歩き喜ぶ心豊かな活動の場の提供が必要とのこと。実際の活動の場を見学できてよかった。
- 平成17年4月ボランティア委員会を設け40人の登録がある。訪れたとき不要な布を切って医療現場で使うウエスト作りの作業に当たっていた。かつて岡谷病院でのボランティア活動を見たことがあったが善意に満ちた奉仕活動である
- 岡谷病院にもボランティアの方が見られますが、もっと目立つ格好が必要ではないか。
- ボランティアの方を見ると何か安心感が湧いてくる。